磯っ子レポート No.45

もみじのライトアップ

（12月2日）

この日は雅楽の演奏もしていました。川匂神社の雅楽保存会の人たちが演奏していて、城山公園の日本庭園の景色とぴったりでした。

一曲がとても長いので、私は最初の一曲しかきけなかったけれど、じゅうぶん楽しめました。今なんの楽器が鳴っているのか、どんなリズムなのかなどということを考えながらきいていると楽しかったです。

▲雅楽演奏（高島さん撮影）

もみじのライトアップは竹の時とまたちがったふんいきで、竹は青い光を放っていたけれど、もみじは赤い光でした。竹は上の方に葉があるので見上げていたけれど、もみじは木が低いのでライトアップされた葉を目の前で見ることができました。不動池にうつったもみじがまたとてもきれいで、池の中にももみじの赤い世界が広がっているようでした。

前回の竹のライトアップの時は、竹がたくさんあるなと思って見ていたけれど、もみじもたくさんあることがわかりました。

（高島あずさ）

第2回やるじゃん大磯拍手喝祭

（12月2日）

運動公園で開かれた「やるじゃん大磯拍手喝祭」では20から30店ぐらいのフリーマーケットが並んでいて、リースを作れる所や、かぶと虫の幼虫を売っている所、にがお絵をかいてくれる所や、手作りのストラップを売っている所などがありました。おもちやおしるこ、みかん、野菜なども売っていました。

ステージでの平塚七夕太鼓の演奏も見ました。すごくはく力があってよかったです。

ほかには、カレッツァとセウパレータによるフットサル教室もありました。たくさんの人が来ていてとても楽しかったです。

（相原美奈）

竹細工教室（ミニ門松づくり）

（12月16日）

城山公園の郷土資料館で開かれた竹細工教室でミニ門松を作りました。

門松はお正月のかざりで、一つ一つのかざりにも意味があります。三本の竹は、一番長いのが父、二番目に長いのが母、一番短いのは子どもです。父と母が笑っていて、その間で子どもが笑っているように見えるのだそうです。他にも竹の節の位置や切り口の形など、いろいろな部分に意味があるそうです。

一番難しかったのは、黒竹を縄で結ぶ所です。本式は男結びにするそうですが、難しいので自由に結びました。最後に親子竹と黒竹をつけた竹を合体させて間に松をつめました。

今年のお正月は自分の作った門松でお祝いできました。日本の伝統的なお正月かざりが作れてよかったです。

（内海七夕美）

▲ミニ門松（内海さん作）

◎問い合わせ
企画室 ☎内線206

青色灯防犯パトロール車で巡回

石神台ガーディアン
Ishigamidai Guardian

自主防犯組織「石神台ガーディアン」では、昨年12月21日から防犯活動の一環として青色回転灯搭載車によるパトロールを開始しました。

青色回転灯車両は犯罪の抑止のため全国の自治体や、防犯団体で導入が進められており、「石神台ガーディアン」では青色回転灯をメンバーが交代で自家用車に搭載し（搭載には警察の許可が必要です）、地元地域周辺の他、広く町内のパトロールを行い、犯罪抑止に努めています。

◎問い合わせ
地域協働課 ☎内線266

広告募集!!

この広報おおいそに掲載する広告（広告主）を募集しています。詳しくは町ホームページの広告募集をご覧になるか、問い合わせください。

◎問い合わせ　企画室　☎内線206

広告

子どものすこやかな成長を願って!!

不登校ぎみのお子さん、学習の補助が必要なお子さんのお手伝いをしています。

低学年の補習、お預かり、学校との対応…

お問い合わせ

― Be Professional ―

親と子の塾

0463-72-5951